

平成28年度の実績

「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」に基づく公表について

ふじみ衛生組合では「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」を作成し、施設稼働における緊急時の対応手順と当組合に寄せられた要望等の処理手続きを定めています。それらの実績については年度ごとに公表することにしてあります。

平成28年度中（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の廃棄物処理施設の緊急事象は以下のとおり2件ありました。

なお、要望はありませんでした。

1 水銀濃度の上昇による2号炉の稼働停止について（平成28年7月20日発生）

(1) 経過

7月20日（水）午後9時46分ごろ2号炉の排ガス中の水銀濃度が急激に上昇し、自主規制値 $0.05\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ を上回る $0.2\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ となりました。排ガス中水銀濃度異常上昇時の対応操作基本手順に従い、活性炭の量を増やすなどの措置を講じましたが、水銀濃度が下がらなかったため早急に稼働を停止し、埋火操作を開始しました。

（2号炉の停止期間7/20～7/26）

(2) 原因

7月20日（水）当日のごみを焼却したために発生したと考えられますが、原因は特定できませんでした。

2 水銀濃度の上昇による2号炉の稼働停止について（平成29年3月13日発生）

(1) 経過

3月13日（月）午前1時18分ごろ2号炉の排ガス中の水銀濃度が急激に上昇し、自主規制値 $0.05\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ を超え、その後、午前1時29分には $0.2\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ となりました。このため、自主規制値を超えた段階で、排ガス中水銀濃度異常上昇時の対応操作基本手順に従い、活性炭の量を増やすなどの措置を講じました。

しかし、2時間後の午前3時18分の時点で $0.138\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ までしか下がらなかったため、稼働を停止し埋火操作を開始しました。その後、午前5時24分には $0.049\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ となり、自主規制値 $0.05\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ を下回りました。

（2号炉の停止期間3/13～3/14）

(2) 原因

3月6日（月）～10日（金）のごみを焼却したために発生したと考えられますが、原因の特定はできておりません。

参考 平成27年度の実績

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 廃棄物処理施設の緊急事象 | 実績はありません。 |
| 2 要望等 | 実績はありません。 |